



自立し、互いに関わり合いながら、よりよい社会づくりに参画し行動する「有徳の人」の育成を目指して

Eジャーナルしずおか



令和3年(2021年)
9月6日
月曜日
第239号

発行・編集 教育政策課 〒420-8601 静岡市葵区追手町9番6号 TEL 054-221-3674 FAX 054-221-3571 E-mail kyoui_seisaku@pref.shizuoka.lg.jp

「ICT」と「授業」の未来 新時代の授業はすぐそこに

県教育委員会では、新時代の授業に対応すべく、小中学校の教員を対象に、GIGAスクールサポート研修を実施しました。研修では、GIGAスクール構想と情報モラル教育についての講義やICTの特性を活用した授業の体験を行いました。グループワークでは自らのICT機器等を用いてICT活用術を紹介したり、悩みや課題を共有したりして、熱い議論が交わされました。

GIGAスクール構想の実現とは…

Society5.0時代を生きる全ての子供たちの可能性を引き出すために、児童生徒の「1人1台端末」等のICT環境を整備し、個別最適な学びと協働的な学びを実現すること

「情報モラル教育」ではどんなことをすればよいの？

これまでの情報モラル教育では、例えばSNSの炎上や写真による個人の特定及び個人情報流出、デジタルタトゥーなどが取り挙げられてきました。これからの時代は、上記に加え、1人1台端末をよりよく活用するために必要な、情報モラル教育にも取り組む必要があります。

例えば、共同編集において友人が書き込んだ意見を無断で編集しないこと等のルールについて、子供たちが話し合い活動等を通して主体的に学んでいく取り組み等が考えられます。

参考資料

(県教育委員会 令和3年度 人権教育の手引き 学習例「1人1台端末をよりよく活用しよう」)



ICTは道具です！

知っている则便利な機能として…

アンケート機能



Microsoft Forms

共同編集機能



Microsoft Whiteboard

Jamboard Googleドキュメント

事例紹介、悩みや課題…みんなで情報共有!! TEACHER'S VOICE



◎事例紹介

●端末の活用に関する取組

- ・子供たちがデジタルデータ資料を「共有」し、グループ内活動でリアルタイムで考えを共有しながら発表資料を作成している。
- ・学校と家庭が、カレンダーアプリで学校行事等を情報共有している。
- ・子供たちが課題を早く解き終わった際には、個々にeライブラリなどで学習を進めることができるようになった。
- ・欠席した子供へ次の日の予定を伝えたり、宿題についてわからなかったことへのコメント対応をしたりすることができる。
- ・オンライン授業に取り組んだ。(校内、家庭、院内学級等とつながり、授業配信)

- ・実技の見本をカメラで撮影し、子供1人1人に送信し、見本を見ながら各自が練習している。
- ・授業でアンケートや小テストを行った際、瞬時に集計ができるようになった。その集計結果をすぐに授業に反映し子供たちへの指導・支援に活かしている。
- ・Meet、Zoom、クラスルームを利用した生徒会活動を行っている。



●教員の働き方改革に関する取組や意見

- ・教職員間で打合せの資料や起案文書を共有することで、ペーパーレス化が進んだ。
- ・学校でのICTを活用したさまざまな実践や教材等を共有できるとよい。

◎悩みや課題

- ・端末の持ち帰り等のルールについて、児童生徒が主体的に考えたり作成したりする取り組みが必要である。今回の研修で学んだワークシート「1人1台端末をよりよく活用しよう」を活用していきたい。
- ・今回の研修を通して情報モラルの重要性に気づくことができた。学年に応じたモラル教育の内容について検討したい。
- ・児童生徒にICT機器の基本的な操作について指導する時間の確保も必要であり課題となっている。校内で話し合い、取り組みたい。
- ・授業でのアプリケーション活用方法に関しては、校内研修を通して各教員のスキルを上げていく必要があると思う。
- ・ICT教育に関するカリキュラムマネジメントが大切である。(小学校から体系的に取り組むことが必要だと思う。)
- ・トラブルで授業が中断してしまうこともあるが、それを理由にICT活用を進める歩みを止めてはいけない。工夫しながら解決し進めていくべきである。

研修管理システムでICTを活用した授業動画を公開中！ログインした後、「ICTを活用した授業動画の共有」で検索!!



【教育政策課】TEL 054-221-3133

総合教育センター **高等学校における定期訪問時の校内研修会**

平成26年度から始まった定期訪問は今年で8年目になりました。毎年、センター指導主事が全県立高等学校109課程と要請のあった市立高等学校を訪問しています。高等学校での校内研修の充実に、定期訪問が生かされています。

センター発行の
▼ 参考資料 ▼

定期訪問の1日の日程は教科別研修と校内研修会を必須にして、学校とセンター指導主事が相談して決めます。

校内研修会のテーマは、毎年リニューアルしています。授業設計診断の4項目に基づいた教科混合の研究協議を行う「**授業検討会**」、学校が企画・運営を行う「**学校独自のテーマ**」などがあり、各学校が選択します。

今年度は「**授業改善のための学習評価**」のテーマを選んだ学校が約半数を占めています。**観点別学習状況の評価**の実施に向け、センターが作成した「**学習評価の参考資料**」を用いた講義、指導と評価の計画を考える演習、**知識・技能**の問いをもとに**思考・判断・表現**の問いを作成する演習などを行っています。



▼ 日程例 ▼

1時間	校長懇談
2時間	教務主任との懇談
3時間	公開授業
4時間	教科別研修 研究授業(物理)
5時間	教科別研修 教科研修会(理科)
6時間	授業実践(国語) 全員参観
放課後	校内研修会(授業検討会)

▼ 校内研修会のテーマ一覧 ▼

1	学校独自のテーマ
2	事前研修(サポート研修連動)
3	授業検討会(サポート研修連動)
4	カリキュラム・マネジメントの導入
5	総合的な探究の時間の充実
6	キャリア教育の推進と展開
7	道徳教育の展開
8	授業改善のための学習評価

新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、9月6日現在、オンラインにより実施しています。

▼ 演習(数学)例 ▼

知識・技能の問いを**思考・判断・表現**の問いに変えてみよう!

■知識・技能の問い
 $X^2 + 2X^2 - X - 2 = 0$ を解け。

■思考・判断・表現の問い
 $X^2 + \bigcirc X^2 + \Delta X - 2 = 0$ の解が整数解になるとき、 \bigcirc と Δ はどのような整数になるか?

【総合教育センター総合支援部高等学校支援課】 TEL 0537-24-9725

事業報告! 7月11日に 県立中央図書館で **ロボットプログラミング教室** を開催しました

● 経緯と目的

・図書館でプログラミング??
情報化、デジタル化が進む現代において必要とされるスキルを身につけるキッカケとなるイベントとして、株式会社タミヤと協働し、ロボットプログラミング教室を開催しました。
図書館は、資料(本)を借りる場所という認識が未だ強くありますが、これからの図書館は、情報を提供する場所です。今回でいえば、図書館は「プログラミングの基礎」という情報を利用者へ届けたこととなります!

● 反響

・予想以上の応募者数!!
定員10人×2講座で計画したところ、200人以上の申込がありました。急遽、3講座目を計画し実施しました。
プログラミングという情報の需要の高さをうかがい知ることができました。

当日の流れ

1. ティーチング

株式会社タミヤの職員がプログラミングの基礎を解説。



2. 練習

トライ&エラーで実際にプログラムを作る。

3. ロボットゲーム

実際にロボットを動かす。



参加者の声

- ロボットが動くのが楽しかった
- 思ったより簡単だった!
- 学校でもなったらよ
- ロボットほしい!!
- うまくできたとき嬉しかった
- 楽しかった

【静岡県立中央図書館】 TEL 054-262-1246

Minami Alps

生命の宝庫『南アルプス』

南アルプスは3,000m級の山々が連なる日本を代表する山岳地域です。固有種や絶滅危惧種、南限種も多く生物多様性保全の観点からも重要な地域です。



南アルプス高山植物種子保存プロジェクト

貴重な南アルプスの自然を保全するため、令和2年度より「ふじのくに生物多様性地域戦略推進パートナー」を創設し、第一弾として県立磐田農業高等学校にタカネマンテマの種子増殖に取り組んでいただきました。取り組みの結果、凍結種子からの初の発芽や種子の獲得といった成果を得ることが出来ました。



更に5校が加わり、千枚岳登山も実施!



令和3年度は取組を拡大し、県立田方農業、富岳館、静岡農業、藤枝北、浜松湖北の5校の高等学校が新たに加わり、南アルプスを南限とする絶滅危惧種であるオオサクラソウやリンドウ類3種の種子増殖に取り組みます。更に、生育地である南アルプスを知り、種子増殖に役立てるため千枚岳(標高2,880m)登山を実施しました。

【自然保護課】 TEL 054-221-2963



～抽選で図書カードなどが当たる!～

世界では毎年800万トンものプラスチックごみが海に流れ込んでいると推計されます。キャンペーンをきっかけに、静岡の美しい海を守るためにできることを考えてみませんか? 家族や友人、児童・生徒の皆さまにもぜひお知らせください。

実施期間	令和3年7月1日(木)～9月30日(木)
賞品	抽選で以下の賞品からいずれかが当たります。 ● 図書カード(5千円分)…20名 ● プラ使用率を削減*プレディザリットパウダードリンクセット(約3千円相当)…10名 ※味の素AGF株式会社から提供、2ℓペットボトルと比較して94%プラ削減(AGF®調べ) ● オーシャンプラスチックボールペンと木製シャープペンシルのセット(約3千円相当)…6名 ※株式会社パイロットコーポレーションから提供
応募方法	いずれかの方法で応募してください。 写真付きの応募は当選確率2倍! ● SNS(Twitter, Instagram, Facebook) ● ふじのくに電子申請システム ● 郵便又はFAX

詳しくは
こちら



「あ〜る」とは? 静岡県が海のプラスチックごみをへらすために実践をお願いしている、R(あ〜る)で始まる6つの実践活動のことです。

断る Refuse (リフーズ) 使い捨てプラスチックを断っている	回収する Return (リターン) スーパー等のお店の回収を利用している	回復させる Recover (リカバー) 清掃活動に参加している
へらす Reduce (リデュース) マイボトルを使っている	くりかえし使う Reuse (リユース) フリーマーケットを利用している	再利用する Recycle (リサイクル) 分別を心がけている

これも実践であ〜る! ・海プラに関する本を読んだ! ・6Rののほりを見つけた!
・自分なりの「あ〜る」のアイデアを考えたい など

問 ぐらし・環境部環境局廃棄物リサイクル課 TEL 054-221-2426
Eメール hai@pref.shizuoka.lg.jp
HP https://www.pref.shizuoka.jp/kankyoku/ka-040/6r-campaign.html

子供たちの夢の実現を、 トップアスリートが支援します!

「ドリカムスタート事業」 アスリート等派遣希望団体募集中

今後活躍が期待される本県ジュニア世代の育成・強化を目的に、地元企業やプロで活躍するトップアスリートや指導者を中学校部活動等に派遣します。派遣を希望する団体は、下記までお問合せください。

事業概要

開催日時: 土・日曜日の午前または午後を基本とする
(1回のクリニックは2時間程度)

参加生徒数: 50人前後

会場: 中学校体育館や運動場等(施設で行うことも可)
※新型コロナウイルス感染症の状況等により、実施できない場合があります。

参加生徒の感想

レベルの高いプレーに
感動しました。
すごく
憧れました。

柔らかく正確な動きを
見て、やっぱり
プロは違うと
感じました。



申し込み・問い合わせ先

スポーツ・文化観光部 スポーツ局 スポーツ振興課
TEL 054-221-3177
Eメール sports-shinko@pref.shizuoka.lg.jp



夢中になる

静岡大学教育学部附属静岡小学校
研究主題「夢中になる」

研究発表会のご案内

子供は、夢中になって学ぶ中で知識・技能を獲得し、自分の見方や考え方を働かせていきます。また、友だちの見方や考え方と出会い、より深い理解や新たな気づきを得たり試行錯誤したりしながら学んでいきます。私たちは、「夢中になる」経験やその経験を通して得た力が、未来を生きるその子の支えとなると信じています。



研究発表会 ▶▶ 10月15日(金) 8:40～

6年間の研究成果をお伝えする研究発表会を開催します。各教科の学びにおいて、自分の目的に向かって自ら人・もの・ことに働きかける子どもの姿をご覧いただき、「夢中になる」について、ともに語り合えることを楽しみにしております。

本会は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、**静岡県内の方のみ参加をお受けいたします**。参加が難しい方には、資料を送付いたします。参加・資料請求ともに無料です。多くの先生方のご参加を、本校職員一同、心よりお待ちしております。

※感染状況により本会の日程や内容を急遽変更する場合があります。ご承知おきください。

参加・資料請求の問い合わせ

静岡大学教育学部附属静岡小学校 研究部長 北原
〒420-0856 静岡市葵区駿府町1番94号
TEL 054-254-4666 FAX 054-254-4668 Eメール osizusyo@shizuoka.ac.jp



2021 FALCon 高校生国際会議 @Mishima

県立三島北高等学校は、文部科学省の委託事業である「WWL(ワールド・ワイド・ラーニング)コンソーシアム構築支援事業」の事業拠点校に指定されており、本年度は高校生国際会議を実施します!

国内外の高校生が、Crisisに負けない持続可能な社会づくりを目指し、SDGsの視点からの多面的なアプローチで課題解決に挑みます。



三島北高校でのポスターセッションの様子

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、原則オンラインでの実施とします。当日の一般公開は中止としました。

日程	2021年9月17日(金)～9月19日(日)
会場	三島市民文化会館(ゆうゆうホール)、県立三島北高等学校
参加生徒	国内35人(県内外)、国外15人(アメリカ、シンガポール他(計4か国)) ※会議に参加する生徒は既に選抜済みです。 ※県外・国外の生徒はオンラインでの参加となります。
プログラム	● 9月17日(金) 開会式、基調講演【ゆうゆうホール】 ● 9月18日(土) 英語プレゼンテーション他【三島北高校】 ● 9月19日(日) 会議成果物の上映会、閉会式【ゆうゆうホール】
会議詳細	WWL特設サイト(https://www.mishimakita-h.ed.jp/event/)「2021FALCon高校生国際会議 @Mishima(ハイブリッド型)公開について」より会議内容をご覧ください。

こちらからも
アクセス
できます!



【高校教育課】TEL 054-221-3114



静岡県委託事業

令和3年度 静岡県介護サポーター育成事業

どなたでも参加できます。

参加無料

広告

介護の入門研修を実施しています

就職、社会貢献、介護を学べる3日間の研修です

介護事業所の介護職員は、介護業務と介護周辺業務を行っていますが、業務負担が重く、介護周辺業務を担ってくれるサポーターが必要です。介護の仕事は初めてという方も、「介護に関する入門的研修」で介護の基礎を学べます。



運営:株式会社東海道シグマ 介護事業部
〒420-0857 静岡市葵区御幸町8-1 JADEビル6F

お気軽にお問合せください

TEL: 054-255-4259 受付時間: 平日9:30～17:30



東海道シグマ